

## 「ザ・ギャラリー北摂連絡会」平成29年第2回例会 会議録

進行：(共同代表)蒲田

記録：豊中市

と き：2017年5月25日(木) 18:30～21:00

ところ：みのお市民活動センター・会議室

参加者：(順不同・敬称略)[正員] 蒲田、山下、藤田、浅川、牧野、斎藤、坂本

[オブザーバー] 皆川(箕面市)、北川(箕面市)

資 料：[事前メール]・各自治体からの発言要旨(豊中市、吹田市、箕面市、高槻市、豊能町、茨木市)

・平成29年5・6月議会日程表

・“「ザ・ギャラリー北摂連絡会」の活動について”(平成26年第2～4回例会提示資料)

・ガバナンス5月号特集「自治体議会改革の到達点と職員の立ち位置」からの抜粋

[当日資料]・各自治体の「議会だより」(2・3月定例会記事掲載分)など

### ◎ はじめに

＊ 前回平成29年第1回例会(2/15)会議録について、了解する。

### ◎ 連絡・報告事項

＊ 構成員の動きは、特になし。

＊ 回覧資料あり(「ガバナンス」2月号掲載の“分野横断的な地域福祉の実現に向けて”永田 祐や5月号特集の“自治体議会改革の到達点と職員の立ち位置”神原 勝ほか)

### ◎ 話し合い事項

(1)各自治体における動静について(それぞれの発言要旨参照)

＊ 2・3月定例会のトピックス/議会改革・活性化の動き

【豊中市】森友問題、単独で私立小学校の設立許可がされることはほとんどないなかで、豊中市が関係ないとのスタンスはおかしいと思う、とのコメントあり。

【吹田市】第4次総合計画策定にむけて市民をいれたワークショップ。若い人の参加もあったが、何のための計画なのかの理解が欠け、文言いじりに終わっている感あり。

【箕面市】有志議員主催の土山希美枝講師による議会改革の集まりあり。レジメ「市民にとっての議会改革を考えるー市民と議会の『もやい直し』」。議会では与党(17名)対野党(5名)の構図が鮮明に。

【高槻市】ふるさと寄附金の返礼品については、応援するNPOへの寄付など、より魅力的なメニューを用意してはどうか。市長にお任せ(全体の約6割)の用途報告が必要。市民が参加して決める仕組みの検討。

【豊能町】本年9月の改選から、議員定数が14名から12名に2名削減。

【茨木市】3月定例会で「茨木市長等政治倫理条例」が制定されたが、市民の調査請求に対する審査会が委員3名の構成であり、内容的にいかがなものか。他方、議会でも4月12日に政治倫理条例策定会議を設置し、この先2年を目途に条例制定のもくろみ。

＊「議会のあるべき姿」更新データ(平成29年5月1日現在)

5月1日付けでの更新データがほぼまとまったので、議会日程が出揃い次第、併せてウェブサイトに掲載する。

(2)吹田市から前回に続いての総合計画に関する報告や豊中市から今回報告の行政視察受け入れ状況における地域福祉関連の内容などを踏まえ、以下の事柄について意見交換。

- ・総合計画について

2011年の地方自治法改正により、総合計画ガバナンスのあり方が各自治体の責任・裁量で決定されることになり、全国の策定状況や計画組み立て内容がまちまちであるなか、首都圏が進んでいる。市民参画で熱心なのは、ワールドカフェを最大限利用している静岡県牧之原市。  
見える化が必要。北摂は競争意識がない。(昨年第2回定例会後に蒲田提供の関連資料参照。)

- ・「我が事・丸ごと」地域共生社会の方向性について

今国会で「地域包括ケアシステム強化のための介護保険法等の一部を改正する法」が可決されそうで、地域住民が手足となって地域づくりに励む地域共生社会の実現に向けての方向性が出されている。地域包括支援センターも子どもから高齢者まで対象にした相談体制が望まれているが、豊中市が関連するモデル事業に手を挙げている。

- ・地域福祉計画の策定について

前述の法改正を通じ、「地域福祉計画」を分野別計画の上位に位置づけるような方向にあり、また、行政の地域福祉計画と社協の地域福祉活動計画(アクションプラン)を一体的に策定の方角にある。先進的計画としては、埼玉県和光市/三重県桑名市/滋賀県甲賀市/東京都武蔵野市などがある。計画も必要だが、地域でのつながりをつくっていかねばの意見あり。

- ・介護支援ボランティアポイント制度について

介護施設等でのボランティア活動に対し、インセンティブポイントがもらえる制度が全国的に広がっているなか、北摂でも吹田市/豊中市/茨木市が行っており、2002年に初めて実施の東京都稲城市では、評価ポイント転換交付金(最大5,000円/年)を介護保険料の負担軽減に活用ができる。介護認定が抑えられる効果が出ていると聞いており、動議づけとしてはよいのではないか。健康(幸)活動がさらに多くの自治体で採用されており、環境活動に対する制度も見られるが、これらを統合し、対象活動とともに、ポイント用途も幅広いメニューによる制度があってもよいのでは。

(3)その他

- \*とよなか地域創生塾

<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/shoukai/kenkyuhokoku/souseijuku/index.html>

- \*第16回コミュニティ政策学会 in 豊中が7月1日・2日に開催予定

<http://www.city.toyonaka.osaka.jp/machi/npo/jiti/gakkai.html>

- \*「付度の見える化」と題する講演が6月18日(日)に知る権利ネットワーク関西の総会で行われる。

- \*参考出版物…①『議会改革の第2ステージー信頼される議会づくりへ』(江藤俊昭著/ぎょうせい)  
②『パートナーシップが創るこれからの地方自治』(静岡県行政経営研究会編著/ぎょうせい)  
③『“地域の民意”と議会』(辻山幸宣・堀内 匠編/公人社)

- \*次回の予定…2017年8月21日(月) 午後6時半～、於：吹田市夢つながり未来館(ゆいぴあ)4階

以上